

# 令和7年度

## 運営に関する計画

大阪市立天満中学校 夜間学級

令和7年4月

### ◇教育目標

人間尊重の精神を基盤として「より健康で心豊かに生きるための学力」の育成を図る

### ◇重点目標

1. 生徒の学習意欲に応える授業づくりに努める
2. 思いやりの心を持ち、互いに敬愛し合う集団づくりに努める
3. 生徒の健康面や安全面を配慮した取り組みの充実に努める

## 目 次

◇令和7年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1. 学校運営の中期目標 ..... 1

2. 中期目標の達成に向けた年度目標 ..... 2

◇令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

1. 【安心・安全な教育の推進】 ..... 4

2. 【教育を切り拓く学力・体力の向上】 ..... 6

3. 【学びを支える教育環境の充実】 ..... 8

## 1 学校運営の中期目標

## 現状と課題

- ・外国籍生徒が80%を占め、その内60%はネパール出身の生徒である。特に令和元年からネパール出身の若年層が増加しているが、彼らの多くは来日間もなく、日本語習得が課題となっている。令和4年度、児童生徒支援加配を受け、日本語指導が必要な生徒が在籍するクラスを3分割して、日本語指導を進めているが、その指導方法についてはさらに研究する必要がある。
- ・外国籍生徒が学習するためには母語支援が不可欠であり、共生支援拠点からの通訳派遣に多く頼っている。令和3年度後半から、ネパール語の母語支援員が週2回派遣されたが、さらなる支援が必要となる。
- ・教員の積極的な関わりやサポートにより、個別の課題を克服しながら登校する努力を続ける生徒が増えている。感染症に対する不安による欠席は少なくなっているが、家庭環境や家族事情による欠席があり、出席率が課題である。
- ・令和4年度、日本で不登校による「中学校のやり直し希望」の生徒が入学し、令和6年度においては当該事情による新入生が複数名になった。また、性的マイノリティの生徒が複数名入学した。個別の事情で学齢期において「形式卒業者」となっている層への対応が課題である。
- ・校務支援システムが夜間学級の学年・学級環境に合わないため、出席簿や要録等がシステム内で管理できない状態が続いたが、令和4年度末に校内担当教員の工夫により、一部利用可能となっている。完全にデジタル化されるにはまだ課題が残る。

## 中期目標

## 【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度末の生徒アンケートで「いじめはどんなことがあってもいけない」と答える生徒の割合を90%にする。
- ・令和7年度末の出席率を60%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「人に親切にする」「ルールを守る」に対して、肯定的に答える生徒を70%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「目標をもって勉強していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「年齢や国籍などが違う人たちと交流するのが楽しい」と回答する生徒を70%にする。

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度末の生徒アンケートで、「授業がわかる」「勉強が役に立つ」「授業で積極的に発言している」と回答する生徒の割合を80%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「体を動かすことや運動が好きだ」「ほぼ毎日運動をしている」と回答する生徒の割合を60%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「健康には気をつけている」と回答する生徒の割合を70%にする

## 【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度末までに、校務支援システムで、在籍管理や各種帳簿を作成するようとする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「ほぼ毎日パソコンなどの情報機器を使っている」と回答する生徒の割合を70%にする。
- ・授業力向上のため、研究授業に取り組む。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「美術館などの文化施設に行ったことがある」と回答する生徒を60%にする
- ・当面する課題解決に向け、校内研修等を通して共通理解を図りながら教職員の指導力の向上に努める。

## 【その他】

校外の研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努めつつ、得られた知見を授業をはじめ様々な取り組みに生かす。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

## **【安全・安心な教育の推進】**

### **学校園の年度目標**

- ・令和7年度末の生徒アンケートで「いじめはどんなことがあってもいけない」と答える生徒の割合を90%にする。
- ・令和7年度末の出席率を60%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「人に親切にする」「ルールを守る」に対して、肯定的に答える生徒を70%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「目標をもって勉強していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「年齢や国籍などが違う人たちと交流するのが楽しい」と回答する生徒を70%にする。

## **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

### **学校園の年度目標**

- ・令和7年度末の生徒アンケートで、「授業がわかる」「勉強が役に立つ」「授業で積極的に発言している」と回答する生徒の割合を80%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「体を動かすことや運動が好きだ」「ほぼ毎日運動をしている」と回答する生徒の割合を60%にする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「健康には気をつけている」と回答する生徒の割合を70%にする。

## **【学びを支える教育環境の充実】**

### **学校園の年度目標**

- ・令和7年度末までに、校務支援システムで、在籍管理や各種帳簿を作成するようにする。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「ほぼ毎日パソコンなどの情報機器を使っている」と回答する生徒の割合を70%にする。
- ・授業力向上のため、研究授業に取り組む。
- ・令和7年度末の生徒アンケートで「美術館などの文化施設に行ったことがある」と回答する生徒を60%にする。
- ・当面する課題解決に向け、校内研修等を通して共通理解を図りながら教職員の指導力の向上に努める。

## **【その他】**

- ・校外の研修会に積極的に参加し、自己研鑽に努めつつ、得られた知見を授業をはじめ様々な取り組みに生かす。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立天満中学校夜間学級 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「いじめはどんなことがあってもいけない」と答える生徒の割合を 90% にする。</li> <li>令和 7 年度末の出席率を 60% にする。</li> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「人に親切にする」「ルールを守る」に対して、肯定的に答える生徒を 70% にする。</li> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「目標をもって勉強していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70% にする。</li> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「年齢や国籍などが違う人たちと交流するのが楽しい」と回答する生徒を 70% にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 1、安心・安全な教育環境の実現】</b></p> <p>《いじめへの対応（生指）》</p> <p>学級活動・学校行事・生徒会活動等を通して、協力し合う集団づくりを進める。</p> <p>指標：生徒アンケートで「学級活動や学校行事は楽しい」と回答する生徒の割合を 75% にする。（R6: とてもそう思う 74.5%, そう思う 24.5%）</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 1、安心・安全な教育環境の実現】</b></p> <p>《不登校への対応（教務）》</p> <p>・教育相談を通じて、生徒の学習意欲を喚起する。</p> <p>指標：出席率 55% を目指す。欠席生徒には教育相談を通して、登校意欲がわくようする。（R6 出席率 1 月末時点 56.7%）</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</b></p> <p>《道徳教育の推進（道徳）》</p> <p>・道徳の授業に取り組む。</p> <p>・令和 7 年度末の生徒アンケートで①「人に親切にする」②「ルールを守る」に対して、肯定的に答える生徒を 70% にする。①(R6: とてもそう思う 74.5%, そう思う 23.5%)②(R6: とてもそう思う 71%, そう思う 25%)</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</b></p> <p>《キャリア教育の充実（進路）》</p> <p>・人生設計を考え、将来への展望を持たせる。高校生活支援カードの利用依頼等、進路先に個別の生徒について丁寧に引き継いでいく。</p> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで「目標を持って勉強していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70% にする。（R6: とてもそう思う 64.7%, そう思う 35.3%）</p>	
<p><b>取組内容⑤【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</b></p> <p>《多文化共生教育の推進（外国人教育）》</p> <p>・学校行事や民族クラブ等で、相互理解と多文化共生教育の推進をする。</p> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで「年齢や国籍などが違う人たちと交流するのは楽しい。」と回答する生徒を 70% にする。（R6: とてもそう思う 74.5%, そう思う 23.5%）</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度に向けての改善点

## 大阪市立天満中学校夜間学級 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで、「授業がわかる」「勉強が役に立つ」「授業で積極的に発言している」と回答する生徒の割合を 80% にする。</li> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「体を動かすことや運動が好きだ」「ほぼ毎日運動をしている」と回答する生徒の割合を 60% にする。</li> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「健康には気をつけている」と回答する生徒の割合を 70% にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力・体力の向上】</b></p> <p>«言語活動の充実（思考力・判断力・表現力等の育成）»（各教科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTなどを活用し、わかりやすい授業づくりをする。</li> </ul> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで、①「授業がわかる」②「勉強が役に立つ」と回答する生徒の割合を 80% にする。①(R6: とてもそう思う 43.1%, そう思う 54.9%)②(R6: とてもそう思う 84.3%, そう思う 15.7%)</p>	
<p><b>取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力・体力の向上】</b></p> <p>«「主体的・対話的で深い学び」の推進»（各教科）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業で、生徒自身が主体的に考え発言する機会を増やす。</li> </ul> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで、「授業で積極的に発言している」と回答する生徒の割合を 80% にする。(R6: とてもそう思う 45.1%, そう思う 51.0%)</p>	
<p><b>取組内容③【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</b></p> <p>日常的に、軽スポーツに取り組む。（保健体育科）</p> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで①「体を動かすことや運動が好きだ」②「ほぼ毎日運動をしている」と回答する生徒の割合を 60% にする。(R6: とてもそう思う 45.1%, そう思う 51.0%)</p>	
<p><b>取組内容④【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</b></p> <p>食育、健康・安全教育に取り組む。</p> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで「健康には気を付けている」と回答する生徒の割合を 70% にする。(R6: とてもそう思う 60.8%, そう思う 35.3%)</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度に向けての改善点

## 大阪市立天満中学校夜間学級 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 7 年度末までに、校務支援システムで、在籍管理や各種帳簿を作成するようとする。</li> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「ほぼ毎日パソコンなどの情報機器を使っている」と回答する生徒の割合を 70% にする。</li> <li>授業力向上のため、研究授業に取り組む。</li> <li>令和 7 年度末の生徒アンケートで「美術館などの文化施設に行ったことがある」と回答する生徒を 60% にする</li> <li>当面する課題解決に向け、校内研修等を通して共通理解を図りながら教職員の指導力の向上に努める。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容① 【基本的な方向 6、教育 DX の推進】</b></p> <p>『ICT を活用した教育の推進』（ICT 担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育情報利用 PC（児童生徒用）を活用し、ICT 機器に慣れるサポートを行う。</li> <li>適宜デジタル教材を利用し、視覚情報を積極的に取り入れる。</li> </ul> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで「ほぼ毎日パソコンを使っている」「情報機器は便利で役に立つ」と回答する生徒の割合を 80% にする。（R6: ほぼ毎日パソコンを使う 肯定 88.3% 便利で役に立つ 肯定 96.1%）</p>	
<p><b>取組内容② 【基本的な方向 7、人材確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>『教員の資質向上・人材確保』（研修担当）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業力向上のため、研究授業を実施し振り返りを行う。</li> </ul> <p>指標：全教員が、1 回は研究授業を行う。</p>	
<p><b>取組内容③ 【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</b></p> <p>『「生涯学習大阪計画に基づいた取組』（管理職）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術館などの施設を活用するようはたらきかける。</li> </ul> <p>指標：令和 7 年度末の生徒アンケートで「美術館などの文化施設に行ったことがある」と回答する生徒を 60% にする。（R6: とてもそう思う 51.0%, そう思う 35.3%）</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度に向けての改善点

令和 7 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立天満中学校（夜間学級）学校協議会

1 総括についての評価

2 今後の学校園の運営についての意見